

みずほCustomer Desk Report 2020/04/14 号(As of 2020/04/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.36	1.0932	118.44	1.2457	0.6340
SYD-NY High	108.56	1.0966	118.45	1.2536	0.6409
SYD-NY Low	107.51	1.0893	117.32	1.2453	0.6326
NY 5:00 PM	107.80	1.0909	117.59	1.2504	0.6384
NY DOW	23,390.77	▲ 328.60	日本2年債	-0.180	▲ 1.00bp
NASDAQ	8,192.43	38.85	日本10年債	-0.002	▲ 0.20bp
S&P	2,761.63	▲ 28.19	米国2年債	0.2472	1.78bp
日経平均	19,043.40	▲ 455.10	米国5年債	0.4546	4.45bp
TOPIX	1,405.91	▲ 24.13	米国10年債	0.7689	4.19bp
シカゴ日経先物	19,230.00	▲ 370.00	独10年債	-0.3495	▲ 0.05bp
ロンドンFT	-	-	英10年債	0.3050	0.20bp
DAX	-	-	豪10年債	0.8880	▲ 3.90bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	9.34	0.84%
上海総合	2,783.05	▲ 13.58	USDJPY 3M Vol	8.99	0.49%
NY金	1,761.40	8.60	USDJPY 6M Vol	8.81	0.39%
WTI	22.41	▲ 0.35	USDJPY 1M 25RR	-3.63	Yen Call Over
CRB指数	127.94	0.12	EURJPY 3M Vol	9.86	0.33%
ドレインデックス	99.35	▲ 0.17	EURJPY 6M Vol	9.82	0.31%

東京	東京時間のドル円は108.36レベルでオープン。OPECプラスでは結局日量970万バレルの協調減産で合意したものの、時間外のWTI原油価格は24ドル台に上昇した後、22ドル台まで下落した。また日経平均株価が下落する中、ドル円は終日軟調な推移となり、結局107.85レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は108円台半ばでスタートするが、日経平均株価や米株先物の軟調推移を受けてリカオフの円買いに上値重く推移。一時107.79まで下落し、107.87レベルでNYオープン。朝方は主要な米経済指標の発表が予定されていない中、米株の下げ幅拡大を手掛かりに円買いが強まり、107円台半ばまで下落。午後も上値の重い推移となり、107.51まで安値を更新。終盤にかけて米株が下げ渋るとドル円も反発し、107.80レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは主要欧州市場がイースターマンデーで休場となり、取引参加者が少ないと、1.08台半ばで値動きの荒い展開。1.0966まで上昇する場面もあったが、早朝にかけてドルが買い戻しが加速し、1.0903まで反落し、1.0932レベルでNYオープン。朝方は米株安を背景に下落したユーロ円に圧迫され、1.0893をつける。その後、例年でウイルス感染者数が減少していることやフランスのロックダウンが5月11日まで延長されることが報じられるも市場の反応は限定的。ドル買い一巡後は1.0925まで戻されるが、終盤にかけて米金利の上昇を背景にドル買いが進んだことから小幅反落し、1.0909レベルでクローズ。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
-	-	-	-	-

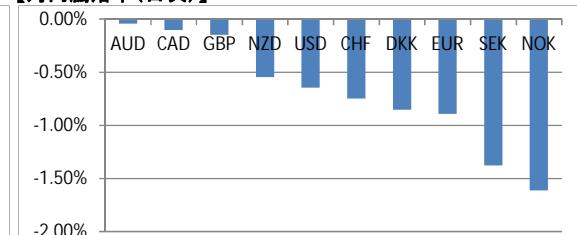
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月14日	-	中 輸出/輸入(前年比)	3月 -13.9%/-9.8%	-
4月14日	-	中 貿易収支	3月 \$20.00B	\$47.29B
4月15日	00:35	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
4月15日	01:30	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 恐怖のフリーランチ

最近TVを付けると休業要請に対する給付金についての議論が活発に行われているのが気になります。収入が減少した世帯には30万円、休業に協力した企業には100万円が支払われる事になりました。この決定に対して、TVを見る限りでは批判が多く、金額の不足を訴えるコメント一や、そもそも申請が必要なやり方が気に入らないというような主旨のコメントなどが多く報道されており、行政の決定に対する世間の受け止め方に厳しさを感じます。

コロナショックを受けた大規模な財政出動が各国で行われている事態を受けて、金融業界では既にショック終息後の財政赤字が招くインフレを懸念する声もきかれています。今回の事態を受けてお金については貯蓄の大切さを感じたところですが、終息後の世界が急激なインフレに見舞われるのだとすると更なる備えが必要なのかもしれません。(尾身)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア

ブル
ペア
6
14